

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/4 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	15.2 °C	4.6 kPa g	A系： 0.01	vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.02	vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h	20.5 °C	7.33 kPa g	A系： 0.03	vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.01	vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h	18.0 °C	0.20 kPa g	A系： 0.06	vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.05	vol%

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (3/4 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	13.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	26.9 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	21.6 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	7.7 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘッドへの注水を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	3/2 10:25 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	3/3 9:58 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (3/4 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運 転	水バランスを みて断続運 転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

- H27/2/5 ~ 3号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
- H27/2/14~ 4号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
- H27/2/24~ 2号機海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を開始。
- H26/6/2~ 陸側遮水壁工事を開始。
- H27/3/2 8:50 頃、構内化学分析棟において、協力企業作業員(男性)が作業中につまずいて転倒。その後、入退域管理棟救急医療室にて医師の診察を受けた結果、右手首脱臼骨折の疑いがあり、緊急搬送の必要があると診断されたため、9:25 に救急車を要請。なお、当該作業員の身体に放射性物質の付着はなく、自力歩行が可能な状態。搬送先のいわき市立総合磐城共立病院における医師による診断の結果、「右橈骨遠位端骨折」と診断された。負傷した協力企業作業員は、負傷した当日に手術を行っており、今後約3ヶ月程度の治療を要する見込み。
- H27/3/4 10:15 頃、構内駐車場に停車中のタンクローリーから油が漏れているとの連絡が緊急時対策本部へ入った。降雨の影響により、タンクローリー下部に油膜が約2m×約4mの範囲で広がっていたが、現場の状況を確認した結果、車体(積載油およびエンジンオイル等)からの油の漏えいではなく、過去にタンクローリーの車体に付着した油が、降雨による影響で流れ落ちたものと推定。タンクローリー下部に広がっていた油膜については、14:00 に吸着材による回収が終了。なお、本件については、10:20 に双葉消防本部通信司令室*へ一般回線にて連絡。11:30 に双葉消防本部より「車両からの油の漏えい事象」との判断を受けた。
※「富岡消防署通信司令室」と記載しておりましたが、「双葉消防本部通信司令室」の誤りでした。(H27/3/4 訂正)

【地下水バイパス揚水井の状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1~12 のサンプリングを継続実施中。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- 3/2 に採取したH4エリア周辺地下水E-1の分析結果において、全ベータの値が 44,000Bq/L であり、前回値(3/1 採取分:4,300 Bq/L)と比較して10 倍程度の上昇を確認。この値は、過去の変動の範囲内であり、当該観測孔の全ベータにおいては、降雨の際に以前にも上昇が見られていることから、今回の上昇についても降雨が影響したものと考えている。
- その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上